

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|---------------|
| 施設番号 | 66-0642 |
| 施設名 | 青梅保育園 |
| 施設所在地 | 青梅市滝ノ上町1274-1 |
| 法人名 | 社会福祉法人青梅福祉会 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭遊び①（5歳児）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）「健康なからだをつくる」ことが当園の保育目標となっている。園庭は日当たりも良く、風通しも良く広々としているが路面が不安定で子どもたちの全身運動の欲求を満たしてあげられない。そこで園庭を整備することによって子どもたちが安心、安全な環境でこの目標を達成できる環境を作りたい。

2. 活動スケジュール

1 / 14 ・ 15

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）・サッカーゴールだけ出した。

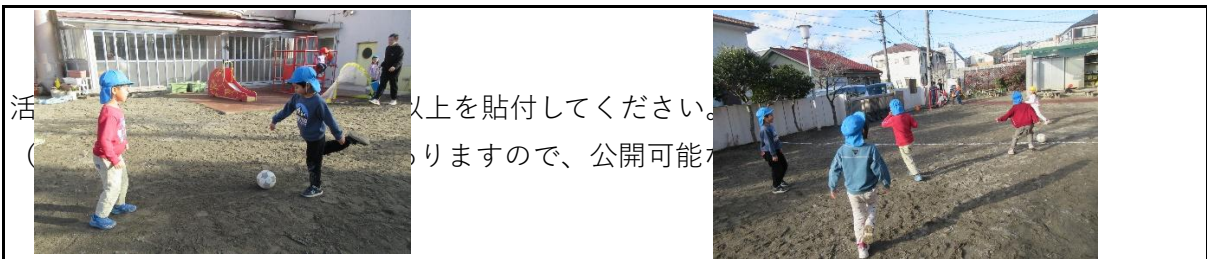
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

5歳児「サッカーに決まったの？」と声だけ掛け自分たちでボールを取りに行き自分たちでゴールの位置や広さ、ボールの転がり具合を考えた。A君「前は、ボールを置いただけで転がったけど、今は転がらない」B君「でこぼこじゃないからだよ」C君「サッカーやりやすいよね」そんな会話が聞こえた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

園庭の隅にサッカーゴールがいつもあります。園庭の広さを考えサッカーをするのか、ドッジボールするのかを考えている。「今日は、サッカーにするか、ドッジボールにするのか考えよう」と話していた。「昨日はドッジボールでボールのはずみ方が違ってたじゃん、今度はサッカーにして走りやすさ、ボールの転がり方を見てみよう」遊び方で園庭の変化を考える姿に驚きを感じた。「園庭のデコボコがなくなって走りやすいよ」「そうだね」との声で今までは思っていたようだ。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自然や遊具を用いた遊びの中で友だち、保育士とコミュニケーションを取ることで能力を
高めていること。ストレス発散をし心の豊かさを育てている。幼児は協調性や他者を思う気
持ちは育った。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|---------------|
| 施設番号 | 66-0642 |
| 施設名 | 青梅保育園 |
| 施設所在地 | 青梅市滝ノ上町1274-1 |
| 法人名 | 社会福祉法人青梅福祉会 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭遊び②（1歳児）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）「健康なからだをつくる」ことが当園の保育目標となっている。園庭は日当たりも良く、風通しも良く広々としているが路面が不安定で子どもたちの全身運動の欲求を満たしてあげられない。そこで園庭を整備することによって子どもたちが安心、安全な環境でこの目標を達成できる環境を作りたい。

2. 活動スケジュール

2 / 25（1歳児）その前の周から遊びを追う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）コンビカーを「出して」と言ってきた。

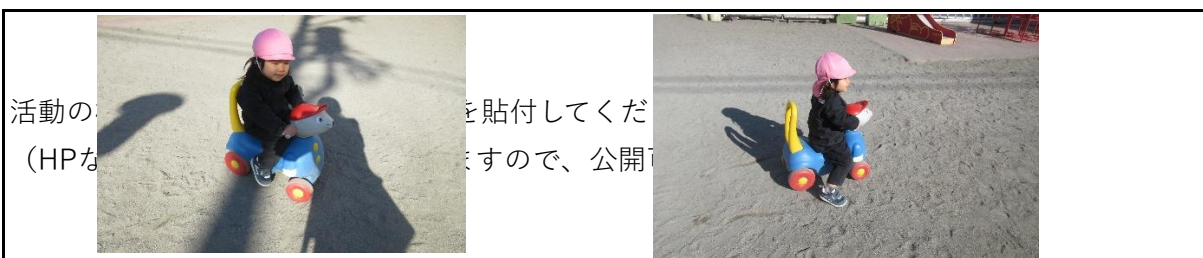
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

以前はところどころで走りづらくすぐに飽きていた子どもがいた。コンビカーが大好きな子どもたちは、園庭に出ると「ブーブー出して」と自分から言ってきた。コンビカーを出してあげると自分で乗る場所を見つけるを見ていた。園庭を整備したら子どもの足の運びがスムーズであること、長い距離を上手に乗っていた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「行ってきます」と張り切って走り出した。子ども本人は小さいので以前と違いは、気が付いていないが足の運びがスムーズで蹴る力、踏ん張る力が付いていた。子どもたちは、「速い、速い」と言いながら走っていました。走りやすくなったので「いっぱい、いっぱい」となかなか交代が難しくなるほどでした。「沢山、乗れたね」と保育士の声掛けに満足そうな笑顔で応えてくれた。保護者とは、スピードが出て乗れるようになったこと足の蹴る力が付いたことを話す。毎日のお気に入りの遊びになった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

園庭遊びは、子どもたちの身体的、感情的、社会的、認知的を育てる大切な活動である。コンビカーを漕ぐ、方向を変える、友だちと交代するがあるが園庭整備をしたあとは、足の蹴る力、漕ぐ踏ん張りの変化が感じられた。方向を変える時、以前なら立って変えていたが、乗ったままスムーズに変えていました。走りやすくなったのでなかなか交代が難しくなったが同じ遊びで充分に楽しめていた。(以前はすぐに交代していた)

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|---------------|
| 施設番号 | 66-0642 |
| 施設名 | 青梅保育園 |
| 施設所在地 | 青梅市滝ノ上町1274-1 |
| 法人名 | 社会福祉法人青梅福祉会 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭遊び③4歳児 ④1歳児

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 「健康なからだをつくる」ことが当園の保育目標となっている。園庭は日当たりも良く、風通しも良く広々としているが路面が不安定で子どもたちの全身運動の欲求を満たしてあげられない。そこで園庭を整備することによって子どもたちが安心、安全な環境でこの目標を達成できる環境を作りたい。

2. 活動スケジュール

3/18・19(4歳児) 3/13(1歳児) その前より遊びを観察

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 砂場道具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

③4歳児・毎日のように朝から砂場で遊ぶ女子たちの姿を観察。ある日、A子が「お庭がきれいになったね」と言っていた。B子「砂場とお庭の砂は、色が違う」と会話から一緒に比較した。④1歳児・毎日に要に砂場で遊んでいる。砂場でなく園庭に砂場道具を運んでいる姿を見かけた。砂場で遊ぶ遊び方と園庭での砂遊びを観察

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

③「お庭がきれいになったね」「砂場とお庭の砂が色が違うね」との会話を聞き一人がカップを持って園庭の砂を運び始めた。他児は砂場に急ぎカップに砂を入れた。「見て、見て」「砂場の砂が黒っぽいね」「園庭の砂は白くてさらさらしているね」と一緒に比べた。以前は、なっかた発見。見逃さず良かった。④1歳児が園庭に砂場道具を運んでいた。園庭整備をする前は、砂場でしか砂遊びをしていなかったが広い園庭を見て道具を運び「長い、長い」と線路を描いたり、「きれい」と砂を見せてくれた。「きれいだね」と応えると砂をつまんで手から落とすことを楽しんだ。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自然や遊具を用いた遊びの中で友だち、保育士とコミュニケーションを取ることで能力を高めていること。ストレス発散をし心の豊かさを育てている。子どもたちが主体的に環境と関わることで年齢に応じた発見があった。4歳児保護者に砂場と園庭の違いの発見を伝えると「大人は綺麗になったことしか思わないのに遊びからの発見はすごい」と驚いていた。子ども同士の会話に耳を傾ける大切さを再確認した。